

昭島市と協定を締結

3月12日、都産技研と東京都昭島市(市長 北川 穰一)は、地域産業の活性化に関する業務を相互に連携・協働して推進するための協定を締結しました。都産技研多摩テクノプラザと昭島市は、これまでも多摩テクノプラザ利用料(依頼試験や機器利用の経費)助成や昭島観光まちづくり協会への協力など、さまざまな場面で協力関係を構築してきました。協定を締結したことにより、都産技研利用料助成の範囲を広げるとともに、産業を支える人材となる児童・生徒への技術体験学習の実施など、連携・協力関係をより一層強めていきます。



▲北川市長(右)と片岡理事長

城南信用金庫と覚書を締結

3月13日、都産技研と城南信用金庫(理事長 吉原 毅、以下「城南信金」)は、業務連携・協力に関する覚書を締結しました。城南信金は、都内全域において活動している金融機関です。経営理念に「中小企業の健全な育成発展」「豊かな国民生活の実現」「地域社会繁栄への奉仕」を掲げ、幅広く事業を推進しています。覚書締結を契機に、都産技研は、城南信金と連携・協力関係を構築し、都内中小企業に対して、幅広く研究開発その他技術的な支援、情報提供等を実施し、東京都の産業の発展を図っていきます。



▲吉原理事長(右)と片岡理事長

化学研究評価機構と協定を締結

3月21日、都産技研と一般財団法人化学研究評価機構(理事長 田中 正人)が業務連携に関する協定を締結しました。この協定は、産学公連携事業を通じて化学産業界の活性化および東京の産業を支える中小企業の振興を図ることを目的としており、今回協定を締結したことにより、化学分野での共同研究や研究者の交流が強化され、中小企業の新製品・新技術開発や海外展開など、東京の産業振興をより一層向上させていくことが可能となります。



▲田中理事長(左)と片岡理事長

科学技術週間

「Tokyoふしぎ祭エンス2013」に出展

毎年、東京都が主催する科学技術週間の期間中、4月20日・21日に日本科学未来館にて開催された「Tokyoふしぎ祭エンス2013」に出展しました。

外はあいにくの雨模様でしたが、科学好きの学生や親子連れが集まり、さまざまな科学の体験・実演イベントを楽しんでいました。都産技研では、ソーラーエネルギーで動く動物たちやオルゴール制作のものづくり体験会を開催。1回10名の定員がすぐ満席になるなど、非常に人気のある講座となりました。



▲無事完成した太陽電池のオルゴール



▲つい夢中になってしまう組み立て作業